

紙祖神 岡太神社・大瀧神社(国の重要文化財) 例大祭 ― 福井県無形民俗文化財

神と紙
その郷のまつり

千参百年 大祭

平成三十年

五月二日〔水〕

五月五日〔土〕

五月二日
午後時 お下り

五月三日
午後〇時半 法華八講
午後三時半 湯立神事

五月四日
午前九時半 例大祭 紙能舞・紙神楽

五月五日
午後〇時半 御輿渡御
午後八時 お上り

平成三十年
紙祖神 岡太神社・大瀧神社

壺千参百年大祭・御神忌

五月二日

お下り

八照宮 月尾渡御

権現様 奉迎

宵宮祭

午後一時

午後二時半

午後六時半

午後七時

五月三日

法華八講

湯立神事

奉納ライブ

午後〇時半

午後二時半

午後五時

五月四日

例大祭

◆紙能舞・紙神楽

権現様 奉送

午前九時半

午後七時半

五月五日

後宴祭

神幸祭

◆子供御輿渡御

御輿渡御

奉送祭

お上り

午前十時

午後〇時

午後〇時半～六時

午後七時

午後八時

五月二日

お下り

白丁姿と紋付姿の駕輿
丁番がかつぐ神輿で山
頂の奥の院からご神体
を奉迎します。



八照宮 月尾渡御

江戸時代の祭祀記録に「八照宮のご神体を月尾
神社に迎えた」との記述が残っております。本
大祭において、150年ぶりに月尾地区へご神
体が渡御します。

権現様奉迎

天正三年（一五七五）、織田信長の大瀧寺攻略
の難を木留の地に逃れたご神体が文室・五皇神
社より里帰りされます。

五月三日

法華八講

法華八講とは、仏教の開
祖である釈尊が説かれた
諸経の中で最高の仏法と
される法華経（八巻）を八
座に分け、一座ごとに問
者・講師間で問答往復論議させながら、仏説
の真理を明らかにすることを目的とした講讃
儀式法要です。八世紀末ごろから神仏習合が
進む各社寺や宮中寺で追善、奨学、試験、祈願、
神仏法楽のため盛んに修されてきました。



湯立の神事

「湯立」の神事は「湯の花」の神事ともいわれ、
神前的大釜で湯を沸かし、神官又は巫女ある
いは修験者がその熱湯に笹をひたし、湯玉（湯
の花）を自分のからだや参詣者に振りかけ、
神意をうかがったり身を浄める神事です。



五月四日

例大祭（式典）

紙能舞

紙祖神川上御前が里
の川上に出でまして、
衣を竿頭につけ、紙
漉きを伝授された所
作を女一人で演ずる
無言舞です。



紙神楽

川上御前より伝授され
た紙漉き技の無言狂言
で、紙漉き唄をうたい
ながら子どもたちが演
じます。



五月五日

御輿渡御―五箇まわり

大祭の最終日、神様
が奥の院にお還りの
まえに、紙漉きの郷五
箇の各集落、岩本・不
老・新在家・定友の神
社を巡幸します。
各神社では、神輿
の争奪戦がさまざま
い迫力で繰り広げら
れます。



お上り

大祭の最後は、お上り。神様が奥の院に還御
されます。夜のとりもおりた闇のなか、万
灯に高張り提灯、お峯天狗と赤青天狗を先導
に、白丁姿の駕輿丁
番にかつかれた神輿
は、九十九折の参道
を登って行きます。
提灯の火が見えかく
れする情景は、誠に
幽玄で幻想的です。



●JR武生駅下車後 バスで25分
JR武生駅より福鉄バス、和紙の里経由 戸の口行に乗車
●北陸自動車道武生ICより10分

米原IC	北陸自動車道	武生IC	車10分
大阪	特急2時間	JR武生	車20分
名古屋	特急2時間	バス	バス25分
金沢	特急2時間		

紙祖神 岡太神社・大瀧神社

5月3日～5日 岡太神社・大瀧神社 宝物殿 特別公開
期間中、和紙の文化博物館にて「岡太神社・大瀧神社 至宝展」を開催

壺千参百年大祭・御神忌実行委員会

〒915-0234 福井県越前市大滝町11-13
岡太講会長 石川 TEL/0778-43-0330

岡太神社 大瀧神社

検索